



外観近景

中東遠総合医療センター 掛川市・袋井市新病院

周辺環境を配慮した建物外観と人々が集う解放感のあるエントランスにタイルを採用

建物の大きさとしての低層のボリュームは、既存の環境に合う伸びやかな水平強調のデザインが採用されています。建物の奥行き感と安定感を演出し、より自然との調和のある印象を持たせています。湿式タイル特有のマットな質感と、焼物らしい色ムラによって自然な表情に仕上がりました。通路部と外来・検査エリアの交差部は自然な連続性が感じられるタイルパターンを展開しています。また、縦横に貼られたタイルは斜めに歩くことによる違和感を緩和させるため、極力方向性を消すことを意識してデザインがされています。



外観全景

DATA

設計：株式会社久米設計
 施工：株式会社大林組
 所在地：静岡県掛川市菖蒲ヶ池1-1
 竣工：2013年3月

商品情報

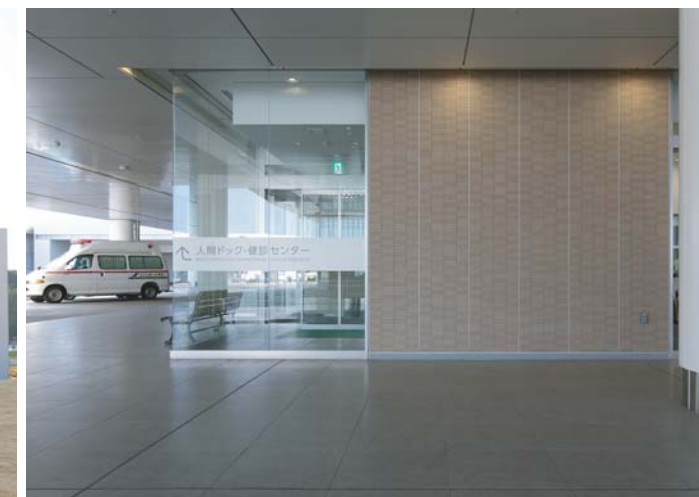
外装壁タイル：COM-1520Z/Z-570/S110RH-0095
 COC-255ZRG/R95/S110N-4056
 外装床タイル：IPF-600/SEN
 内装・外装床タイル：IPF-630/SEN, IPF-300/SEN
 外装床タイル：IPF-600/ROZ-2 (現在廃番品)
 内装壁タイル：MLP-100NET

掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。(許可なく転載・流用した場合、損害賠償が発生します。)

外観



正面低層部



1F エントランス入口

内観

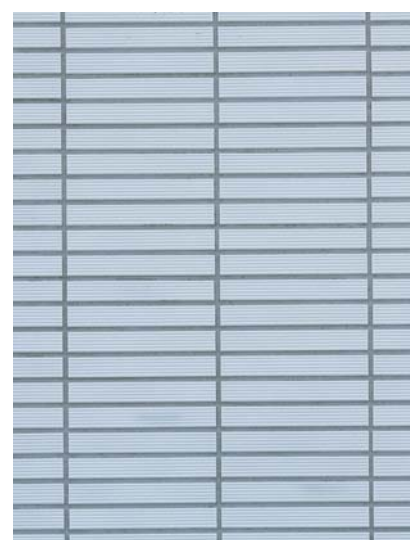


ホスピタルモール



1F エントランス

ディテール



外壁タイルディテール



外壁タイルディテール



内床タイルディテール